

TASAKI

平成25年度 第3四半期
株主・投資家様への説明資料

株式会社TASAKI

TASAKI

連結損益計算書

中核事業である国内小売売上が順調に推移するとともに、粗利率の改善、経費の抑制などの施策が継続的な効果を得て、四半期として営業黒字を達成いたしました。また、退職金制度改定による特別利益の計上により当期純利益も大幅な黒字となりました。

〔 単位：百万円 〕

	第3四半期連結会計期間(3ヶ月)				
	平成24年10月期	平成25年10月期	増減		
売上高	3,588	4,102	513	14.3%	
(参考)国内小売売上	2,596	3,051	455	17.5%	
売上総利益	2,040	2,487	447	21.9%	
販売費及び一般管理費	2,308	2,484	175	7.6%	
営業利益又は営業損失	△ 268	3	271	(-)	
連結EBITDA	△ 115	147	262	(-)	
経常利益又は経常損失	△ 331	△ 134	197	(-)	
当期純利益	△ 342	524	866	(-)	

	第3四半期連結累計期間(9ヶ月)				
	平成24年10月期	平成25年10月期	増減		
	11,492	12,472	980	8.5%	
	7,849	8,710	860	11.0%	
	6,652	7,540	889	13.3%	
	7,145	7,260	115	1.6%	
	△ 493	280	774	(-)	
	△ 58	677	735	(-)	
	△ 605	224	830	(-)	
	△ 647	767	1,414	(-)	

※ EBITDA=営業利益+減価償却費+その他償却費+現金流出を伴わない費用
 ※小売売上には、新規百貨店・セレクトショップの売上金額を含み、当該売上金額は上代金額(店頭での最終販売金額)です。会計上は、上記上代金額から百貨店の歩引き金額を差し引いた金額を計上しており、会計上の売上金額とは異なります。

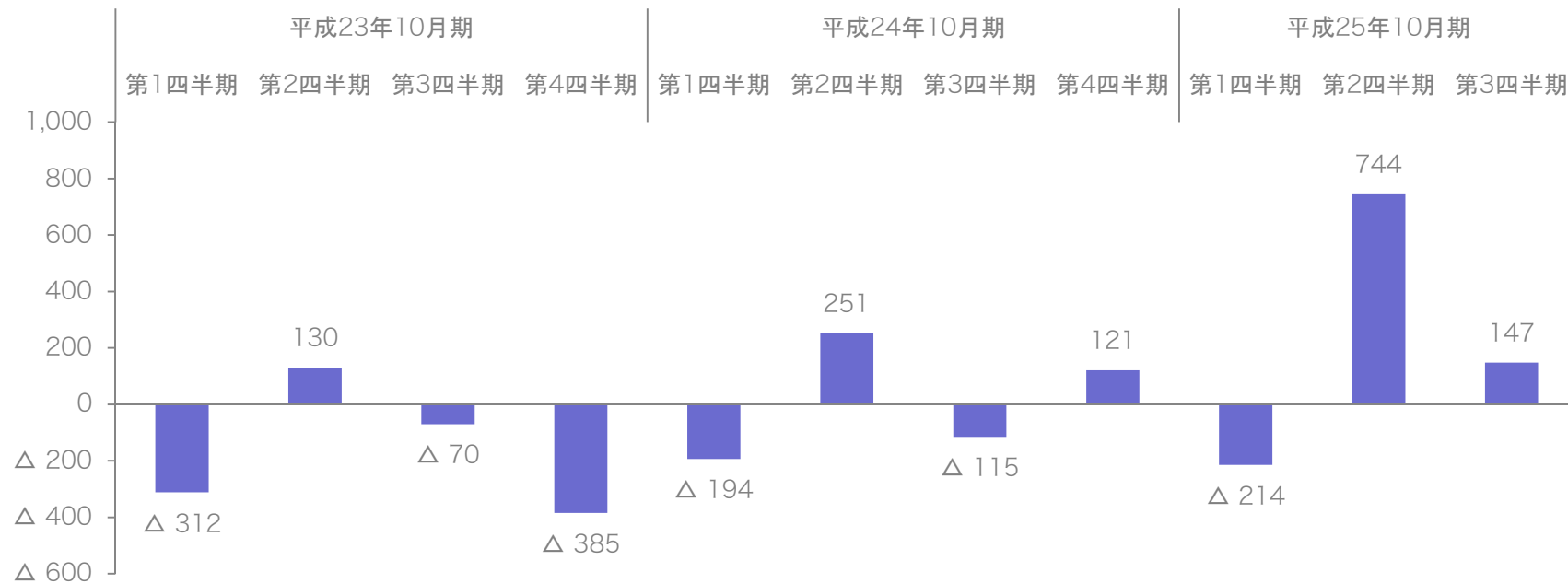
※平成25年12月20日付にて当期純利益を訂正いたしました。
 (訂正前 913 ⇒ 訂正後 767)
 お詫び申し上げますと共に、詳細は12月20日付『(訂正)「平成25年10月期第3四半期決算短信」及び「平成25年10月期決算短信」の訂正について』をご覧ください。Z

TASAKI

連結EBITDA推移

当社の重要経営指標であるEBITDA（※）は1億47百万円で、前年同期を大幅に上回り、2四半期連続の黒字となりました。

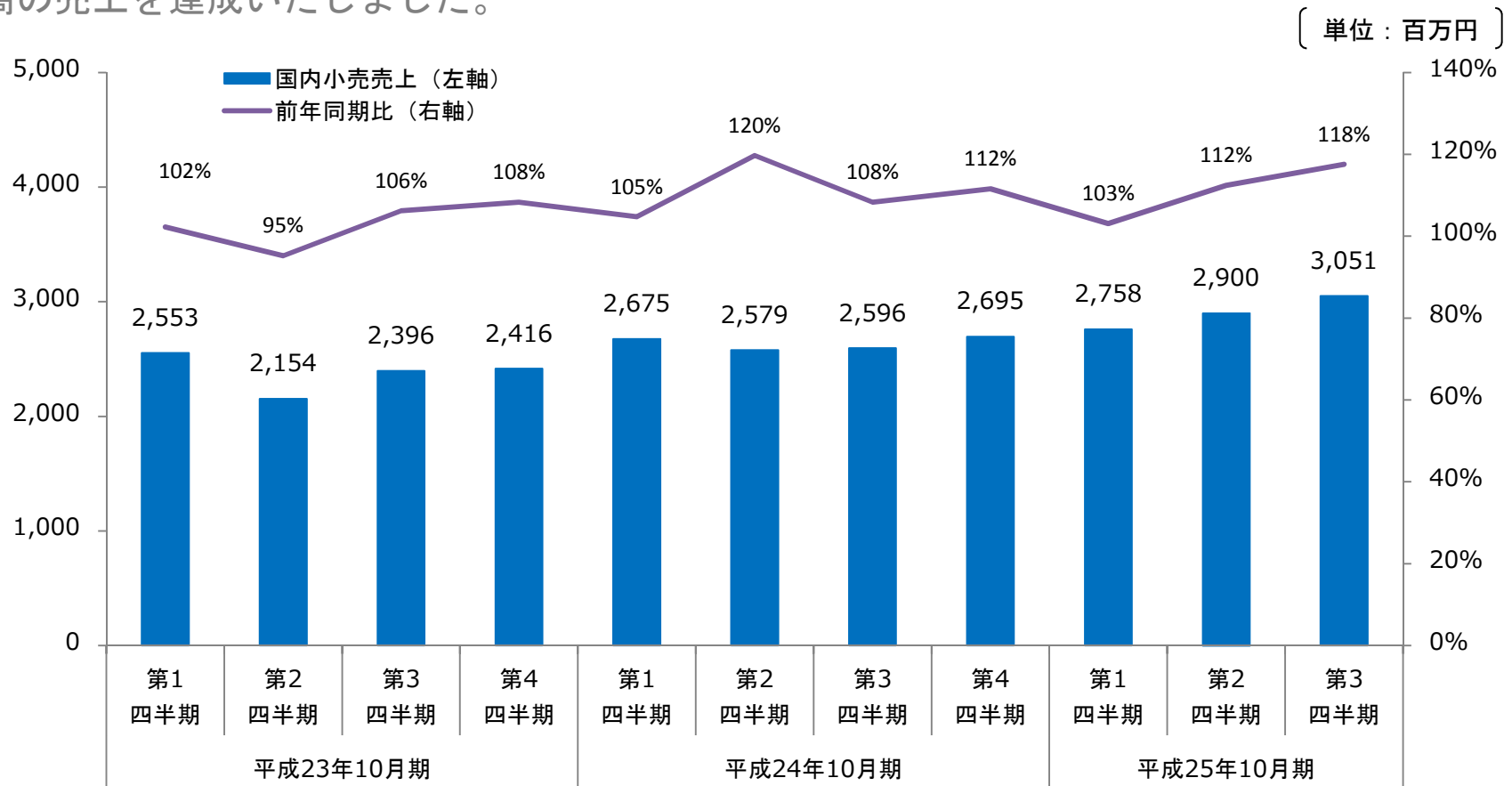
[単位：百万円]



※EBITDA=営業利益+減価償却費+その他償却費+現金流出を伴わない費用

国内小売売上

国内小売売上高は売上30億円を超え、平成21年9月のブランドリニューアル以降、四半期として最高の売上を達成いたしました。

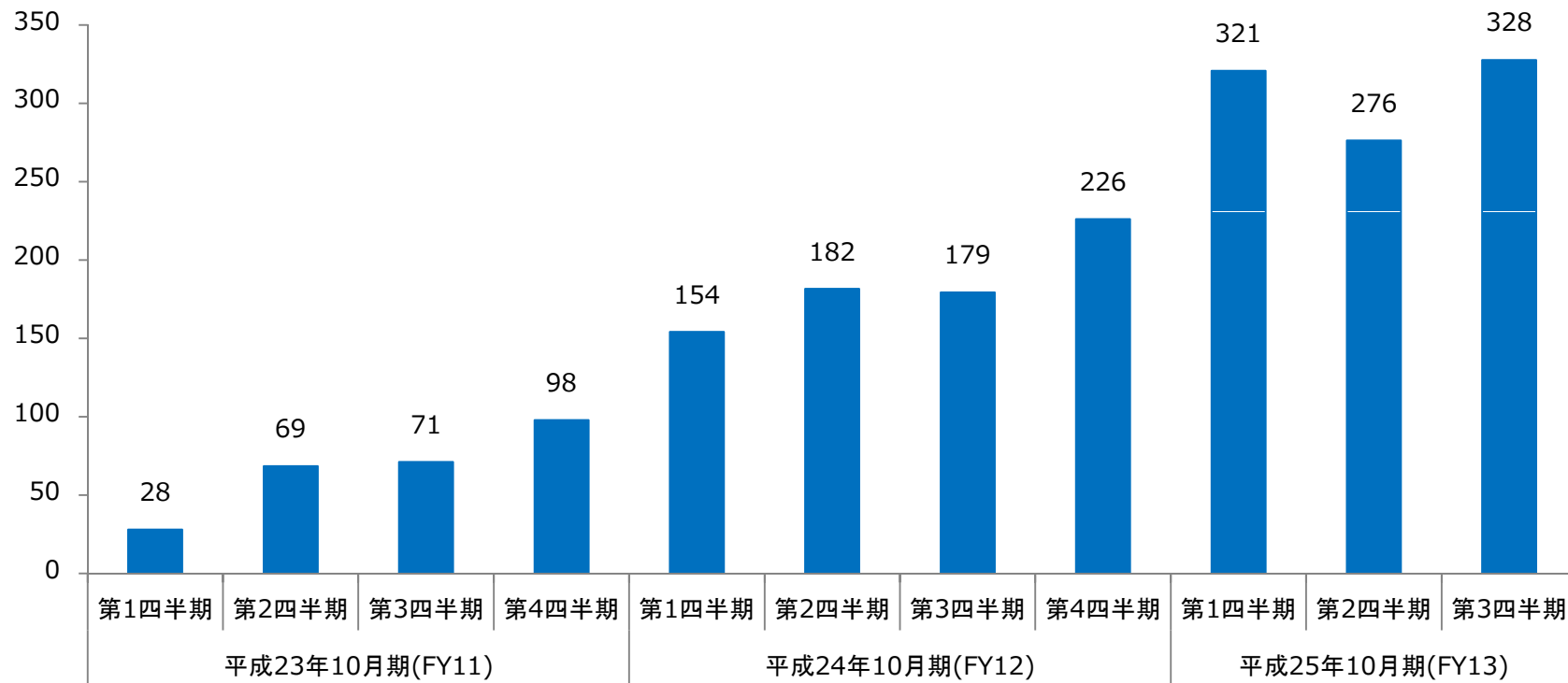


※小売売上には、新規百貨店・セレクトショップの売上金額を含み、当該売上金額は上代金額（店頭での最終販売金額）です。会計上は、上記上代金額から百貨店の歩引き金額を差し引いた金額を計上しており、会計上の売上金額とは異なります。

新規百貨店・セレクトショップ売上

新規百貨店・セレクトショップの売上は、全国有力百貨店での限定プロモーション（横浜高島屋店・仙台三越店・大丸心斎橋店など）が成功を収めるとともに、既存店の売上も好調でクリスマスシーズンを上回る売上となりました。

〔 単位：百万円 〕



※ 「新規百貨店」は2009年のブランドリニューアル以降に開店した、新しいブランドフォーマットでの百貨店内店舗のことです。
 ※ 新規百貨店・セレクトショップの上記売上金額は上代金額（店頭での最終販売金額）です。会計上は、上記上代金額から百貨店の歩引き金額を差し引いた金額を計上しており、会計上の売上金額とは異なります。

TASAKI

特記事項

- 本資料に記載されている将来の見通しに関する事項は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記見通しとは異なる場合がございます。
- 本資料は当社の企業情報の提供を目的とするものであり、当社の株式の購入、売却等、投資を勧誘するものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身の判断において行われるようお願い致します。
- 本資料に関するお問い合わせ先
人事総務部IR担当マネジャー 田中 雅彦 TEL：080-2461-3910